

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 サポートステーション みつばちパーク

公表日 令和 8 年 3 月 3 日

Table with 7 columns: Check Item, Yes, No, Points for Improvement, Issues/Points for Improvement, and Topics/Points for Improvement. Rows are categorized into Environment/Policy Preparation, Business Improvement, and Appropriate Support Provision.

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子さまの特性に合わせた、きめ細かな支援計画を作成し、必要時はマンツーマンの対応を行っております。	専門職による個別対応や合同での集団活動なども計画しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		リーダーを中心に支援の流れや内容、担当するお子さまの課題や目的等を確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ミーティングを通し振り返りや改善点を話し合い、次回に生かせるよう情報共有を図っております。	全職員での情報共有を図り、統一した支援ができるよう心掛けてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ハグを活用し、療育日誌や個人記録を作成しており、振り返りや今後の支援に繋げられるよう情報共有に生かしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングやケース会議を行い、よりよい支援ができるよう内容の検討を行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参加し、お子さまの特性に合わせ看護師や専門職が同席します。	関係機関と密に連携を図り、関わるみなさまと担当者会議が行えるよう努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		強力医療機関との連携や関係機関連絡会議、研修等へ積極的に参加しています。	これからも保健センターとの情報共有や発達相談会、地域支援会議等へ積極的に参加し関係機関との連携を図ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		並行通園先への訪問や日々の送迎時等に直接先生方と情報共有を図っております。	双方への訪問を行ったり連絡会を開催するなど、密に連携を図りながら情報共有に努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学相談会、移行支援会議等への積極的な参加や移行支援シートを作成し、保護者様の同意の上就学先への情報提供を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		センター主催の勉強会や研修会にも積極的に参加し、法人内の他事業所との交流や合同研修会なども実施しております。	公開療育や他事業所との活動内容検討会、意見交換会等へ積極的に参加したいと思えます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			同法人の保育園や児童発達支援事業所との交流や活動の場の機会をさらに増やして行きます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ハグを利用して日々の様子をお伝えしており、送迎時やお電話でもお子さまの様子や連絡事項等をお伝えしています。	ハグシステムの活用が浸透し、活動内容等をよりわかりやすくお伝えでき、保護者からも好評である。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会や保護者も参加できる研修会を開催し、ペアレントトレーニング等と一緒に学ぶ機会を作っています。	保護者様のニーズに沿った研修や必要な情報提供ができるよう更に体制を整えてまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学や契約の際に詳しく説明し、玄関にも提示していつでもご確認いただけるようにしております。	利用者負担額が発生する際は、わかりやすく丁寧に説明できるよう心掛けてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的なモニタリングだけでなく、保護者やお子さまの困りごとや課題を日頃から情報共有し個別支援計画に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成した個別支援計画の課題や内容等保護者様に説明し、同意を得て交付しております。	総合的支援内容を提供することを基本とし、5領域とのつながりを明確化した計画のもとに支援してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的なモニタリングだけではなく、いつでも相談をお受けできる体制を整えております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		お子さまの行事にあわせて保護者会を開催し、活動への参加や保護者同士の交流の機会を作っています。	事業所合同での行事や遠足、保護者会や研修会を積極的に開催しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口、解決責任者を選任しており、いつでも気軽に相談いただけるようお伝えしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ハグシステムにて行事計画や活動内容、お子さまの活動の様子など写真も添えてお知らせしております。	お子さまの活動の様子やお知らせなど、より分かりやすく迅速にお伝えできるようになりました。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員一同規則に従い、十分に配慮しながら管理運用しております。	年度ごとに保護者様の意向調査を実施し、またシステムの運用にあたってもより注意を払っております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーションツールとして絵カード等の活用や視覚支援を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		秋祭りやチャリティーイベントを開催し、誰でも参加できる活動を行っております。	少しずつ規模を拡大しながら、参加されるみなさんが楽しめる企画をご案内できるよう検討しております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを職員全員で周知徹底し、感染症対策については法人の判断基準等、その都度保護者様にも文書でお伝えしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		消防署との非常災害訓練や自主避難訓練、消防設備点検等定期的に行っております。	職員一同あらゆる災害等に対応できるよう日頃から危機管理意識を高め、BCPの検討や訓練をしております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		看護師や専門職を配置し、お子さまの既往歴や投薬状況、緊急時の対応など把握しております。	保護者様を通じて主治医や専門職と連携を図り、緊急時の対応や活動内容の意見交換等を行っております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在アレルギーのあるお子様については、事前に献立をお知らせし保護者様のご意向をうかがったうえで対応しております。	引き続き委託している給食業者のメニュー内容や金額などの情報を提供し、保護者様のご意向をおうかがいしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		整備された安全計画に基づいて研修や訓練を行い、職員全体に周知しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時のマニュアルに沿って対応しています。ご家族には緊急時のSOSシートを作成していただき、必要時にすぐ確認できるよう管理しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際は、当事者が報告書を作成し、全職員で再発防止・対応策を検討し共有しております。	小さな気づきも職員で共有し、ヒヤリハットや事故が発生しないよう努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		権利擁護、虐待防止等の研修に参加し、全職員にて研修内容の周知や検討会を実施しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約の際、やむを得ない場合の身体拘束事由などを十分に説明し、同意書の作成承諾を得ております。	お子さまの生命や安全確保のため、どのような場合にやむを得ず身体拘束が必要になるかなど検討し、適切な対応ができるよう全職員で周知しております。	